

# 視聴覚教育

NO. 351

発行日

21.3.11

発行

岡崎市AVL

編集

現職研修委員会

学習情報部

## 視聴覚用語

### 『フィルタリング』

家庭や学校で子どもが不適切な情報にアクセスしないよう閲覧制限をかけたたり、インターネット経由の情報漏洩を防止したりする手段。携帯電話も様々な方法で、出会い系サイトや有害サイトへのアクセスを制限する機種が増えてきた。

## 子供がいきいきと使う

### パソコン室や情報機器

学習情報指導員 小田 哲也

指導員訪問などで、この一年で二十校以上の学校を回らせていただいた。プリント教材ソフトを使った学習量の多い授業、インターネットなどを資料とした調べ学習、プレゼンテーションソフトを使った発表の授業、情報モラル指導に関する授業など、さまざまであった。

パソコン室での授業も教室でのプロジェクトで発表する授業も、子供たちが主体的に利用している授業は、どの顔も表情がいきいきしている。自信をもった姿である。

岡崎市内全小中学校にパソコン室が設置されて、はや十年になる。この間、学習情報部では全ての職員にパソコンの操作やパソコン室での授業ができるように講習会を行ってきた。また校内LANの導入が始まって六年となり、教室でパソコンを使うことはもちろん、プロジェクトで画像を黒板に映したり、書画カメラを

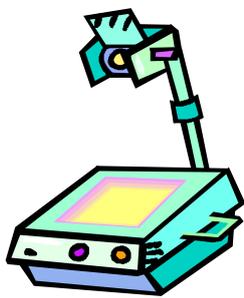
使ったりできる環境が整ってきている。すでに

教員のパソコン操作の基礎段階は終了し、岡崎市だけでなく全国的に活用段階に入っている。

新指導要領では、小学生は「キーボード入力をはじめとした基本操作ができる」としている。四年生以上では、ストレス無くスムーズに文章を打つことが求められ、活用型授業では、パソコンを利用してレポートを作成したり、発表用プレゼンテーションをつくらしたりする。

デジカメやビデオは、低学年の子供から利用できる。一年生の児童が、写してきたキュウリの葉を、プロジェクトで黒板に映して、葉の枚数や大きさの変化を発表する実践は珍しくない。パソコンや

情報機器を、子供たちが利用し、いきいきと学習課題を達成する授業を実践していくことが、岡崎の情報利用に大切なことである。



## || 視聴覚あれこれ ||

平成20年度(第53回)

### 愛知県自作視聴覚教材コンクール結果発表

県教育委員会・県視聴覚教育連絡協議会主催の愛知県視聴覚教材コンクールに、本市から43作品を応募し、多数の入賞をはじめ優秀な成績をおさめることができた。

### 【生涯学習及び社会教育・ビデオ教材部門】

#### ・佳作

『日光東照宮とその周辺』 矢野 正義

### 【学校教育部門・ビデオ教材部門】

#### ・最優秀賞 教育長賞

『酒蔵を守る』 女性蔵人の挑戦』

自作教材制作委員会A班

#### ・優秀賞

『地域のために何ができるか』 鋳物メーカーの挑戦』 自作教材制作委員会B班

#### ・佳作

『菜の花が環境を守る』

自作教材制作委員会C班

『菌のはたらき』 生活に役立つ菌類』

自作教材制作委員会D班

『Water Miso Girls』 徳川家康杯にかける青春』

自作教材制作委員会E班

### 【学校教育・コンピュータソフトウェア部門】

#### ・最優秀賞 教育長賞

『パトロールへ自動安全を守る仕事』

自作教材制作委員会G班

#### ・優秀賞

『土地のつくりと変化』 岡崎の地層探検』

自作教材制作委員会F班

#### ・佳作

『「岡崎むかし館」からはじめよう』 ふるさと岡崎の探検』 南中学校 伊藤研治

## 実践報告Ⅱ

### 理科で役立つインターネットの利用

岩津中学校 徳 斉尚

東京ブーネットとインターネット百葉箱を理科の授業で毎年継続して利用している。

東京ブーネットにある「どうぶつ図鑑」は、中学校で学習する昆虫類・ほニュー類までの6種類に分類されている。分類ごとに分かれているので、実践では単元導入としてほニュー類に限定した動物調べに利用した。画像が用意されているため、数千種類の動物の中から興味を持った動物の姿を観察しながら、その動物の食や生息地などさまざまな知識を得ることができた。また、動画や鳴き声についても用意されており、より具体的にその動物をとらえるなど、発展的な学習にも利用することができた。

<http://www.tokyo-zoo.net/>



インターネット百葉箱は、岡崎市内では竜海中学校、東海中学校、常磐中学校の3校に設置されている。定点カメラによる画像や、観測機による気温、湿度、気圧、降水量の情報が記録されており、グラフなどを見ながら、気象分野の学習のまとめとして天気の変わりを裏証することに利用した。また、全国各地に広がっているため、気象環境の違いについて学習を深める機会になる。

実際に触れることが難しい分野だからこそ、このような有効利用をお勧めします。

## レッツ・トライⅡ

### オーディオインターフェイスで

クリアな音声を

デジタル録音が主流になりつつある現在。手軽なのはMDだが、リスニング問題や、学芸会の効果音など、あとから加工するには、パソコンで録音すると便利だ。ただし、アナログ音声そのままパソコンのマイクジャックから入力した場合、パソコン内部のノイズを拾ってしまったり、音が割れていたり、トラブルがつきもの。そんなとき、音をデジタル処理してUSB経由で取り込むアイテム「オーディオインターフェイス」を使えば、とてもクリアなデジタル音声が入る。パソコンの外部でアナログとデジタルの変換を行うことで、このようなノイズの影響を受けずに高音質な録音や再生が可能だ。

プロフェッショナルな録音スタジオにも匹敵する高音質と、手軽に操作できるソフトウェアで、カセットやレコードなど思い出の音楽をパソコンへ簡単に録音、デジタルライブラリーとして保存できる。録音した音楽ファイルを、デジタルオーディオプレーヤーで持ち運んだり、パソコンをジュークボックスにしたり、オリジナルCDを作成したりと音楽の楽しみ方が大きく広がる。



(矢作中学校 学習情報主任 坂田 健一)

## ライブレコーダーだよ

井田小学校が、2冠達成!

●インターネット活用教育実践コンクール 経済産業大臣賞

「地域社会や学校などの教育におけるさまざまな活動の中で、インターネットを有効に活用している優れた実践事例を表彰し、全国に広く紹介することにより、教育の情報化の推進を図ること」を目的に開催された、文部科学省主催、第9回インターネット活用教育実践コンクールにおいて、井田小学校の実践が、経済産業大臣賞を受賞した。

●映像制作を通じたメディアリテラシー・

コミュニケーション能力の育成

―『バーチャル模造紙』を活用して―

●KWN日本コンテスト最優秀作品賞&音響賞

KWN(キッド・ウィットネス・ニュース)

は、パナソニックが子どもたちを対象とした教育支援プログラムで、ビデオ制作活動を通じて、創造性やコミュニケーション能力を高め、チームワークを養うことを目的としているコンテストである。井田小学校6年生のグループが最優秀作品賞と音響賞を獲得した。

作品名 「千人塚」からのメッセージ

〜未来に生きる私たちへ〜

【編集後記】今年度も岡崎の視聴覚教育の取り組みについてお伝えすることができました。多くの実践例や情報をお寄せいただきありがとうございました。来年度も一層の充実を図ってまいります。

